

| | | |
|--------|--------------------------------------|------|
| | 部 会 名 | 経 営 |
| 技術・情報名 | 「パソコン」による多筆圃場の管理手法(多筆圃場の圃場特性表示プログラム) | |
| 実施機関名 | 三重県農業技術センター開発企画部 | 分類 2 |

1. 研究成果の内容

(1) 技術・情報の内容及び特徴

- 1) 大規模水田作経営における多筆圃場を対象として機械・施設などを効率的かつ合理的に利用するため、パソコンを使用して個々の圃場特性と管理実態が把握できる「圃場管理プログラム」を開発した。
- 2) 本プログラムは、ベーシック言語を使用しており、その利用に当たっては、パソコン「PC-9801VM」「PC-PR201」が必要である。
- 3) 本プログラムは、対象経営が耕作する圃場174筆について、圃場特性(所在地、土地所有者、耕作者、面積、土地賃借料、夏冬作物作付品目、品種名、排水性、減水深、雑草草種別発生状況、等)を一筆ごとに一覧表示すると共に、各特性項目ごとに該当圃場を一括色別表示する。
- 4) その内容は、①個々の圃場特性データを入出力・修正するための「データ管理プログラム」と、②全圃場の状況を一括色分け表示できる「圃場図表示プログラム」で構成されている。

(2) 技術・情報の適用効果

本プログラムは、大規模水田作経営を実施している「勝田農事実行組合」を事例として開発したものであるが、圃場地図表示プログラムの一部分を修正することにより、集落農場規模程度の水田作経営を実施している経営体の圃場管理効率化の一助として利用できる。

(3) 普及・利用上の留意点

- 1) 他地域で利用する場合は、圃場地図表示プログラムの修正が必要である。
- 2) 一筆ごとの圃場特性が正確に把握され、標準化されている必要がある。

2. 具体的データ

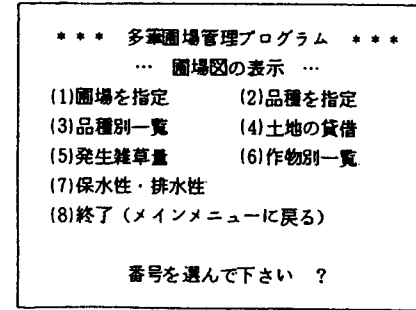


図1 圃場図の表示画面

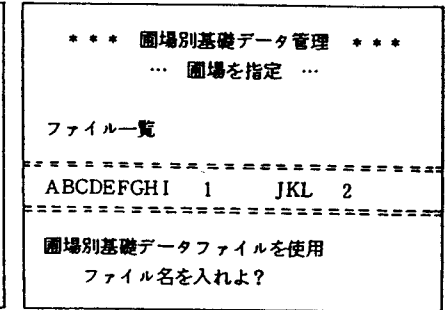


図2 ファイル名の入力画面

表示品種は「コシヒカリ」

別の品種を表示する---0 / 終了する---1 ?

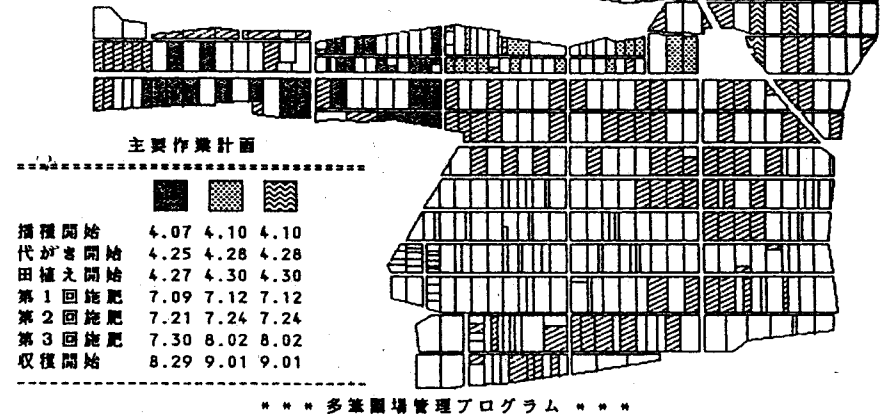


図3 画面表示例-品種を指定

3. その他特記事項

研究期間：昭63～平2

予算区分：特定研究(地域水田)

研究課題名：小規模稲作低生産力地帯の6年輪作における機械・施設の

効率的利用方式の確立

研究担当者名：伊藤 寿、福井 敏、生杉佳弘